

クローズアップ

自転車の死亡事故が急増

ストップ！悲惨な交通事故

テレビや新聞などでは、連日のように悲惨な交通事故が報じられています。「交通事故を無くしたい」と誰もが願っているはず。交通事故を少しでも減らすために、自分たちでできることをもう一度確認してみましよう。



街頭で交通安全を呼びかけます

交通事故の現状

埼玉 玉県では5月31日現在、交通事故で76人もの尊い命が犠牲となり、全国ワースト2位という大変深刻な状況になっています。狭山市でも、すでに4人の方が亡

くなっており、このうち3件は、4月末から5月上旬までの短期間に発生した事故で、いずれも自転車の乗車中に、自動車と衝突したものです。これ以上、悲惨な交通死亡事故が発生しないよう、市では、市内の

各駅前などでの緊急啓発活動を行ったり、狭山警察署と協力して交通指導を行ったりしています。皆さんも「自分だけは大丈夫」と思わず、特に自転車に乗るときは十分に安全確認を行うなど、ルールとマナーを守りましよう。

自転車に乗るときは

自分が交通ルールを守って走っていても、不慮の事故に巻き込まれてしまう可能性があります。特に、交差点など道路が交わる場所では、周りの車や歩行者の動きに十分注意し、安全を確認してから渡りましよう。また、間違った乗り方や故障した自転車に乗ることとは大変危険です。悲惨な交通事故の被害者に、また、加害者にもならないために、次の「自転車安全利用五則」を守りましよう。

①車道が原則、歩道は例外

自転車は、法律で「軽車両」と位置付けられており、歩道と車道の区別がある道路では、車道通行が原則です。

②車道は左側を通行

車道では、道路の左側を通行してください。右側通行は大変危険です。



③歩道は歩行者優先で、車道寄りを通行 上に示す標識がある場合は、自転車で歩道を通行することができます。ただし、歩道では、すぐに停止できる速度で、中央から車道寄りの部分を走行し、歩行者の通行を妨げるような場合は、一時停止してください。



④交通ルールを守る 飲酒運転はもちろんのこと、傘を差しながらの運転スマートフォンや携帯電話、イヤホンなどを使用しながらの運転は禁止です。二人乗りは、原則禁止で、16歳以上の運転者が幼児用座席に

車を運転するとき

6歳未満の幼児を乗せる場合や、4歳未満の幼児をおんぶひもで背負う場合のみ認められています。交差点では、信号に従い安全を確認してください。歩行者用信号が点滅を始めたなら、赤信号と同じです。絶対に渡ってはいけません。



⑤子どもはヘルメットを着用 保護責任者は、幼児や児童にヘルメットを着用させましよう。それ以外の方もヘルメットを着用しましよう。

歩行者は

歩道がある道路では歩道を、歩道がない道路では車道の右端を歩いてください。また、夜間は明るい服を着るよう心掛け、懐中電灯や反射材を活用するなどして、自分の存在を知らせましよう。

早

めのライト点灯を心掛け、余裕を持って、常に安全確認を行ってください。また、交差点では徐行し、横断歩道のないところで歩行者や自転車の横断に注意してください。

日ごろの点検が事故を防ぐ

もしも坂道でパンクしたら、ブレーキが効かずに止まらなかったら…。自転車に乗る前に点検することが、あなたの命を守ります。

- 【ブレーキ】
 - ・ブレーキをかけたときに異音がしないか
 - ・効き具合はどうか
- 【ライト】
 - ・しっかりと点灯するか
 - ・後ろの赤い反射板が外れていないか
- 【ペダル】
 - ・ガタついていないか
 - ・曲がっていないか
- 【タイヤ】
 - ・空気圧は大丈夫か
 - ・ひび割れはないか



問合せ 交通防犯課へ内線3692

市長の主な動き

- 5/1...辞令交付式
- 5/10...定例庁議、入間基地訪問
- 5/11...県知事茶業視察、市町村長会議
- 5/12...日赤社員増強運動事業説明会、西部地域まちづくり協議会定例総会
- 5/13...平和を願う講演会
- 5/14...すこやか推進委員嘱状交付式
- 5/28...津南町民茶摘み体験ふれあいツアー歓迎
- 5/31...新狭山公民館開館式典



新狭山公民館のテープカット

よる講演会を公立の小・中学校で行っています。戦争当時を語ることもできる方も少ない今、戦争の悲惨さを一人でも多くの若い世代に伝えることが最優先だと思っています。北朝鮮のミサイル発射が現実の脅威となる中、市でも国民保護計画が必要とする事項を再確認しました。誰しもが平和な世界を望んでいるはずですが、そうではない現実があります。戦争の惨禍が繰り返されることのないよう、いかにして平和を守ることができかが問われています。

平和を守るために
「ぜひ、みんなに聴いてもらいたいことがある」と、ある自治会の長老が、戦争体験を語ってくれたことがあります。参加者は戦争を知らない私たちの世代と子ども達。初めて聴く戦争の話は、当時の人々が、いかに苦難を強いられたか、子ども達にも強烈な印象として残ったようです。市では5月から、戦争体験者に



「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に参加しています

東京オリンピック・パラリンピックの入賞メダルに、使用済み小型家電に含まれる貴金属が活用されることになりました。東京2020組織委員会が主催するこのプロジェクトに、6月1日から狭山市も参加しています。

市役所、各地区センター、奥富環境センターに小型家電のリサイクルボックスを設置していますので、ご協力をお願いします。詳しくは、公式ホームページをご覧ください。回収にご協力ください
問合せ資源循環推進課へ☎2954-7717

